

# 社団法人 おおさき青年会議所

## 2012年度 総務広報委員会

委員長 高橋光徳

### I. 基本方針

1963年に植えられた種が芽を出し、日々成長を続け、おおさき地域に根を張り、大樹となったこの樹を顧みればそこには多くの喜び、苦難があったことはいまでもありません。日の光を浴び輝いた日もあれば、冷たい雨に打ちひしがれる時もあったと思います。49年間そこにあり続け、多くの人に夢と希望を与え続けたその樹が50年という大きな年輪を今まさに刻みこもうとしています。

千年に一度とも言われる東北地方を襲ったあの忌まわしい大震災は、尊い命と積み重ねられた思い出を何の予告もなく奪い去り、多くの人々の心に深い絶望と悲しみという傷跡を残しました。しかし、震災による絶望的な状況によって忘れかけられようとしていた人を思いやる心、人を繋ぐ絆の大切さを改めて気づかせられました。

高度情報化社会においてインターネットは新たな世界を構築し、そこに住む多くの人々が情報の発信・確認が自由にできるという便利さを生み出しました。しかし、それと共に残念ながら偏見や偽の情報も発信することが可能です。氾濫する多くの情報の中から正しいもののみを見つけ出す目を養い、「広報」するという原点に立ち返り様々な手段を模索し、広域に発信して参ります。

親しき仲にも礼儀あり。どんな人と付き合うにせよ礼を欠いては長くは続きません。総務広報委員会はJAYCEEとしての品格を自覚し、会の規律を重んじます。まず私たちが挨拶や服装といった基本から正し、律することにより会全体の共通認識として浸透するよう努めて参ります。

そして今こそ、JCの三信条である「修練」「奉仕」「友情」を胸に掲げ、日々の活動での修練を生かし、地域に奉仕し、友情を築いて参りましょう。

総務広報委員会はメンバー一人ひとりの心を繋ぐ絆となり、樹齢50年を迎えるこの大樹がやがてこのおおさきの地域を覆う巨木に成る一助となるべく皆様と共に一年間励んで参ります。

## II. 事業計画(案)

### (1) 総会・例会並びに日本 JC、地区、ブロック内各事業、各種大会への参加促進

#### 【目的】

LOM の活性化、メンバーの意識向上、スキルアップに繋げる。

#### 【手段・手法】

総会、例会、各事業及び各種大会についてそれぞれの意義も含め事前に告知し、事務局、委員会と連携して積極的に参加促進を促す。

### (2) 規律ある会務を基本とする柔軟な組織運営

#### 【目的】

より強固で活発な組織を目指す。

#### 【手段・手法】

規律ある会務を基本とし、自らの襟を正し模範となって、LOM メンバーに挨拶、身なり等についての声かけを行う。また、柔軟性も兼ね備えた効率的で生産性の高い運営を行う。

### (3) 公益社団法人格申請、移行に関する事業の実施

#### 【目的】

公益法人格取得に伴う変更点を LOM メンバーに周知徹底する。

#### 【手段・手法】

7 月例会にて公益法人格取得に伴い社団法人格との会務運営等を比較し、変更点を LOM メンバーに表す。

### (4) 本会議所運営規定に関する任務

#### 【目的】

会の円滑な運営を目指す。

#### 【手段・手法】

当青年会議所運営規定に関する任務を遂行する。

### (5) 50 周年の節目となる会の魅力を伝える広報活動

#### 【目的】

積上げてきた歴史と功績及び我々の運動、活動を対外に発信し、当青年会議所の認知度を高め、理解を深める。

#### 【手段・手法】

- ① ホームページの作成とその更新頻度を高め魅力あるホームページを作成する。
- ② 広報手段を模索、検討し当会議所の 50 周年を PR する。

(6)例会主管 (1月 7月 12月)

**【目 的】**

- ①当会議所設立 50 周年という節目の年の門出となる例会であり、ご来賓、特別会員に対して今後の運動、活動にご理解、ご協力をいただける機会とする。
- ②公益法人取得後の変更点等を LOM メンバーに周知する機会とする。
- ③多大な功績を残された卒業生に敬意を表すと共に、一年間の活動を労う場とする。

**【手段・手法】**

- ①1月例会においては、新年式典としてご来賓、特別会員をお招きし、創立 50 周年を迎えた当青年会議所の決意を対外的に示す場とする。また、LOM メンバーがおもてなしの気持ちをもって親睦が深められるよう設営を行う。
- ②7月例会においては、公益法人格取得に伴いこれまでと取得後の会務運営等を比較し、変更点を LOM メンバーに表す。
- ③12月例会においては、多大な功績を残された卒業生に敬意と感謝の気持ちをもって卒業式を企画、実施すると共にご来賓、特別会員の方々に一年間のご理解、ご支援に感謝を表す運営を行う。

(7)会員の資質向上に繋がる委員会運営およびその他

**【目 的】**

青年経済人として地域から必要とされる人財の育成。

**【手段・手法】**

政治・経済・社会問題等の時事情報を新聞や書籍等を用いて、委員会開催時にメンバーで話し合う時間を設けることでメンバーの資質向上に繋げる。